

丹後郷土資料館調査だより

令和7年10月1日 第13号

ごあいさつ

令和4年10月、丹後地域の歴史文化の探訪・観光の拠点施設となる博物館を目指すリニューアルの取り組みが始まりました。その後、資料館再整備基本・実施設計を行い、令和6年7月22日には、リニューアルに伴う臨時休館に入りました。さらに、収蔵庫の改修工事に伴う保管資料の移動を進めた後、令和7年1月から執務室を宮津総合庁舎内に移転、新館建設・本館改修工事に着手しました。

令和5年度の事業は、春の企画展「ミュージアムヒストリー—丹後郷土資料館のあゆみ—」、夏の企画展「#丹後のいいね」、京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会「府内まるごと博物館大集合！—新時代の京都展—New World—」、秋の巡回展「発掘された京都の歴史2023」、冬の巡回パネル展「京都府の新指定文化財」の計5件の企画展・展覧会・巡回展を開催しました。加えて、文化財講座(3件)、ワークショップ(1件)、体験教室(5回)、古文書講習会(4回)、イベント(4件「丹後の食文化体験プロジェクト」、「あめつちの祭り」、「鯖タウンミーティング」、「時の響きコンサート」)を実施しました。

令和6年度の事業は、春に特別公開「伊根町【寺領区】の仏像」、夏に京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会「スポットライト—今、ミュージアムが光を当てたい逸品展—」、秋に絵画作品展「吉兵衛と仲間たち」等の展覧会・公開展示を実施しました。さらに、文化財講座(2件)、ワークショップ(3件)、体験教室(5回)、古文書講習会(4回)、イベント(2件「京都には海がある。熱気球プロジェクト①②」「旧永島家住宅Premium公開」)を開催しました。なお、ユニークベニューとして、「熱気球体験&旧永島家住宅での朝食付きツアー」「ピアノ&トークセッション」「ステージライブ」「丹後ばらずしラボラトリー」を実施するとともに、よしもと住みます芸人が出演するイベントも行いました。

今年度は、休館中のプロジェクトとして、新館の建設工事の進捗を観察して、その変化を記録・発信する定点観測の取組を行っています(HP参照)。

これからも、多くの皆様から親しみ愛される、そして、来訪者がわくわくするような体験を提供する等、社会の推移に柔軟に対応できる新たな博物館像の確立に向け、地域文化の積極的な情報発信を進めていく所存です。

今後とも、皆様の御理解・御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

京都府立丹後郷土資料館長 岸岡 貴英

目 次

■ ごあいさつ	岸岡貴英	1
■ 平安期丹後国の須恵器生産と系譜—名地谷遺跡出土遺物の再検討を踏まえ—	稲本悠一	2
■ 宮津藩主本庄宗秀の富士登山	西村正芳	11
■ 史料紹介：宮津城下狹師町「石井家漁業関係史料」	稲穂将士	19
■ 作品紹介：片山尚景筆 花鳥図屏風 二曲一双(旧真照寺本堂襖絵)—京都と 平戸を往復した絵師・片山尚景の有年紀作品—	杉田真菜	29
■ 資料紹介：丹後地域出土文字資料の新知見	松尾史子	32
■ 令和5・6年度の資料整理・調査	資料課	34
■ 令和5・6年度丹後学び舎セミナー活動報告	資料課	40
■ 令和5・6年度のあゆみ	総務課	42